

木と生きる幸福



2020年3月期 決算説明会 事業環境と今後の取り組み

2020年6月1日

住友林業株式会社

代表取締役社長 光吉 敏郎



- **新型コロナウイルス感染症への対応状況** 2
- **2020年3月期 通期実績** 3
- **2020年12月期 通期計画の前提** 4
- **2020年12月期 通期計画** 5
- **今後の課題と対策** 6
- **事業とESGへの取り組みの一体化推進** 7
- **株主還元** 8

新型コロナウイルス感染症への対応状況

□ 基本方針：全てのステークホルダーの安全衛生が最優先

□ 国内：感染予防対策を徹底し、営業活動本格化

住宅展示場は予約制から通常の運営に移行。WEB施策も強化。

建築工事はお客様のご意向を確認し、感染予防と安全、近隣に配慮しながら継続実施。

□ 海外：規制の段階的緩和に応じた事業展開

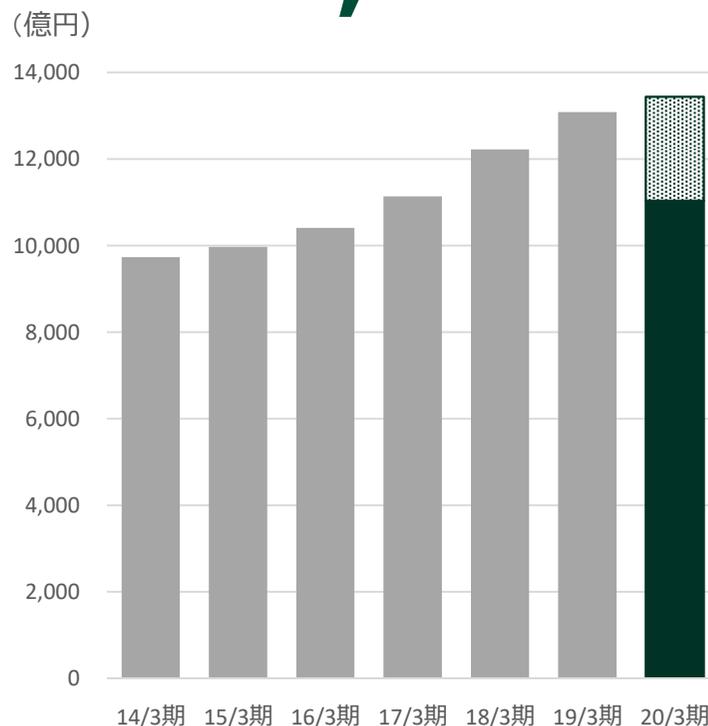
| | 経済活動状況 | 当社グループの対応状況 |
|-------|--|---------------------------------|
| 米国 | 住宅事業は外出禁止令の適用除外業種 規制対象としていた一部州も、5月以降は工事可能 | 展示場、常時オープンに移行 住宅着工も一部再開 |
| オセアニア | 豪州：住宅事業は外出禁止令の適用除外業種 NZ：警戒レベル「2」へ段階的引き下げ | 展示場、常時オープンに移行 製造事業、植林事業、操業再開 |
| 東南アジア | タイ、ベトナムは経済活動が順次再開 インドネシアの大規模活動制限は延長 | インドネシア含め、住宅工事、 製造事業、植林事業、継続中 |
| 中国 | 感染拡大は概ね収束。住設機器の供給もほぼ回復 | CAD業務、継続中 木材建材の輸出業務、通常化 |

2020年3月期 通期実績

□ 米国の住宅・不動産事業が好調に推移し増益。

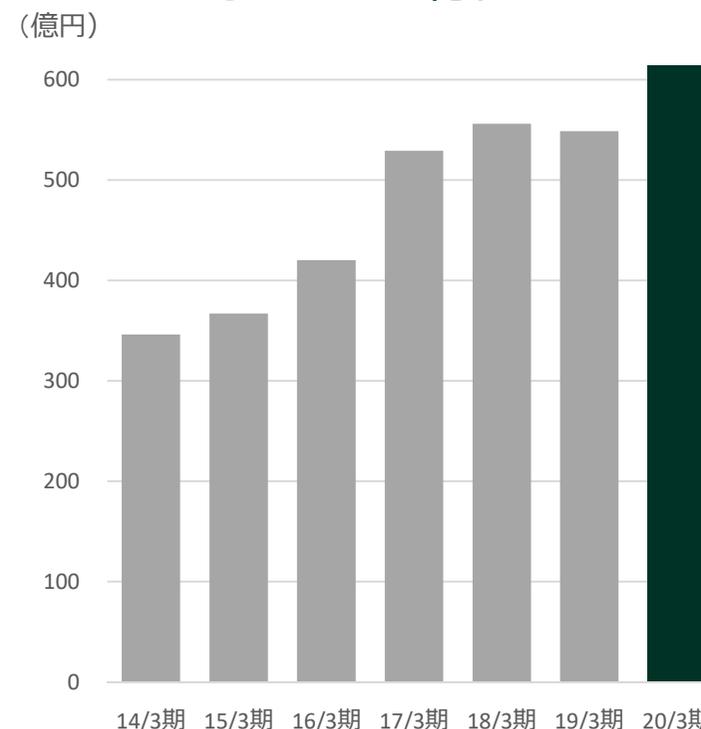
20/3期 売上高※1

1兆1,041億円



20/3期 経常利益 (数理差異除く※2)

614億円 過去最高益



※1 2020年3月期より収益認識基準に関する会計基準を適用。主に木材建材事業において当社が代理人となる取引について売上高を総額表示から純額表示に変更。また住宅・建築事業において工事進行基準を全棟で適用しております。20年3月期の収益認識基準適用前ベースの売上高は1兆3,444億円です。

※2 当社は退職給付会計に係る数理差異を発生年度に販売費及び一般管理費で一括処理しています。20年3月期の数理差異を含む経常利益は588億円です。

2020年12月期 通期計画の前提

- 新型コロナウイルス感染症の拡大は2020年12月末に向けて徐々に収束していくものと仮定。
- 各事業に与える影響の程度や時期は異なる想定。

影響度※

| | | | |
|-----------------------|----------|---|--|
| 計 画 の 前 提 | 木材建材 | 中 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅着工動向に影響され、期の後半にかけて販売が低迷、来年初めまで影響続く。 ・ 海外製造事業における生産ラインの一時停止。 |
| | 住宅・建築 | 高 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 足元の受注着工の減少による完工高の大幅減、消費者マインドの低下によるリフォーム、不動産仲介の低迷。 ・ 受注は7月から徐々に改善する見込みも、業績影響としては、今期後半から来期前半まで続く。 |
| | 海外住宅・不動産 | 中 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業活動制限下による契約戸数の減少。 ・ 米国、足元は回復し始めており6月以降徐々に改善。 ・ 豪州、年内は厳しい状況が続く。 |
| | 資源環境 | 低 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響はそれ程大きくないものの、バイオマス発電の輸入木質原材料のコストアップを見込む。 |

※新型コロナウイルスが当社の経常利益に与えるマイナス（損失）影響度

2020年12月期 通期計画

□ 20/12期は決算期変更による9ヶ月間の変則決算。

売上高

2020年3月期3Q累計実績

8,027 億円



2020年12月期計画

7,440 億円

前期比

△**7.3%**

経常利益 (数理差異除く)

2020年3月期3Q累計実績

431 億円



2020年12月期計画

150 億円

前期比

△**65.2%**

※海外子会社の損益取込期間：【20/3期3Q】1-9月、【20/12期】4-12月

今後の課題と対策

- 各対策を素早く着実に実行し、危機を克服。
将来の業績改善に繋げていく。

お客様の価値観や、
住宅に対するニーズの変化

- ・ テレワークスペース、健康をキーワードにした商品展開
- ・ 新しい暮らし方を訴求したプロモーション実施

海外住宅マーケットの
動向変化

- ・ 変化する住宅市場に応じた機動的な対応
- ・ リスクに配慮した住宅用地の新規取得、分譲住宅の着工

- 経営体制にも万全を期していく。

- ・ 財務面では平常時の水準を超える1,000億円まで資金を積み増し。さらに、社債発行枠、CP発行枠の増額等により1,000億円程度の流動性を確保。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波を想定し、テレワークの定着を睨みつつ、IT環境の整備を加速。



ワークスペースを備えた家

事業とESGへの取り組みの一体化推進

- 持続的な成長にはESG・SDGsへの取り組みが欠かせない。事業と一体で推進し、当社グループの成長に繋げていく。

■ 国際的イニシアチブ「RE100」に加盟

2040年までに事業活動で使用する電力と発電事業における発電燃料を100%再生可能エネルギーにすることを目指す。

RE 100

THE CLIMATE GROUP



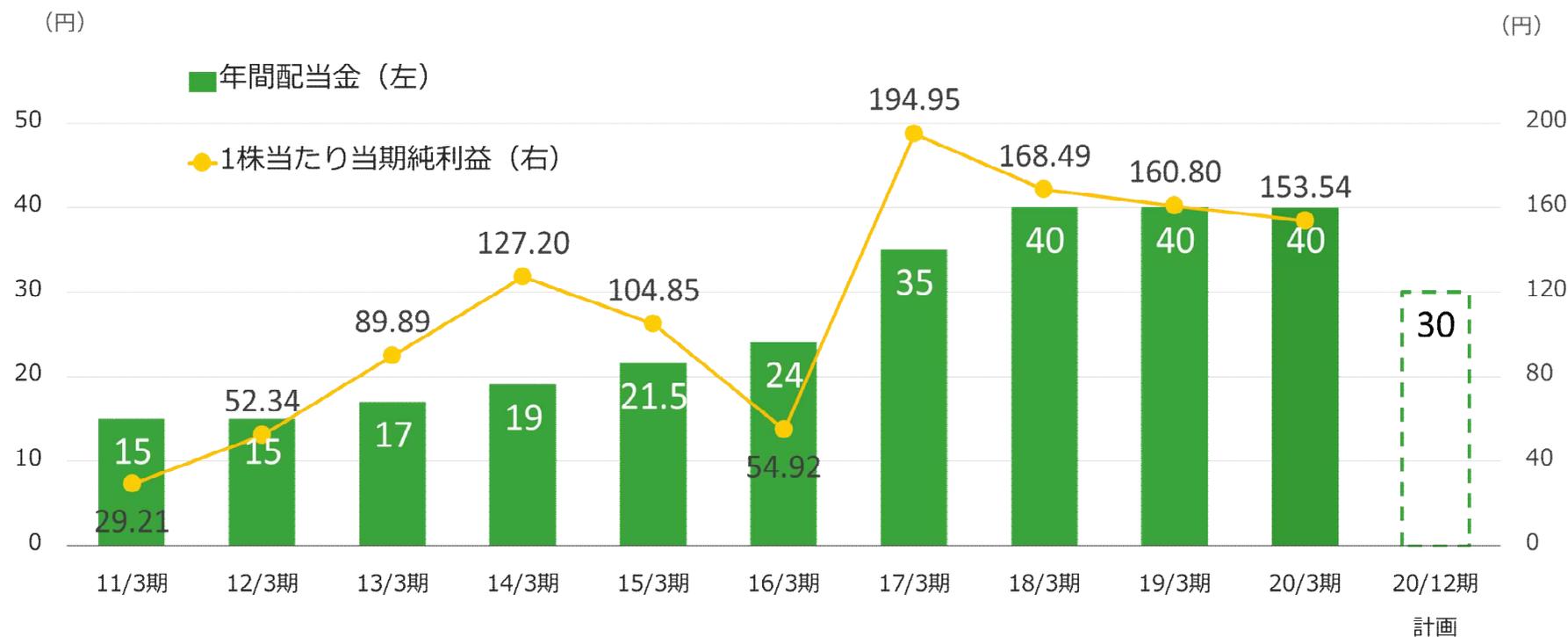
- 取締役の任期を2年から1年に変更 ■ 決算期を12月に統一
- 経営環境の変化に迅速に対応できる環境を構築。経営の透明性向上を図る。

■ W350計画、木造高層建築推進を加速

環境木化都市実現に向けた研究技術開発構想を加速。非住宅の木造化・木質化を推進。

株主還元

- 基本方針：継続的かつ安定的な配当の実施
- 9か月間となる20年12月期の配当金額については、前期までの通年40円を前提に対象期間に応じて中間・期末合わせて30円を予定



-
- ・本資料に記載した見通し及び事業計画等は、資料作成時点において入手可能な情報に基づく当社グループによる仮定及び判断に基づくものであり、その正確性および完全性を保証し、また約束するものではありません。
 - ・見通し及び事業計画等は、今後変更することがあります。

【お問い合わせ】
住友林業（株）
コーポレート・コミュニケーション部 IRチーム
icom@sfc.co.jp

木と生きる幸福



2020/6/1